



「食料・農業・農村基本法」

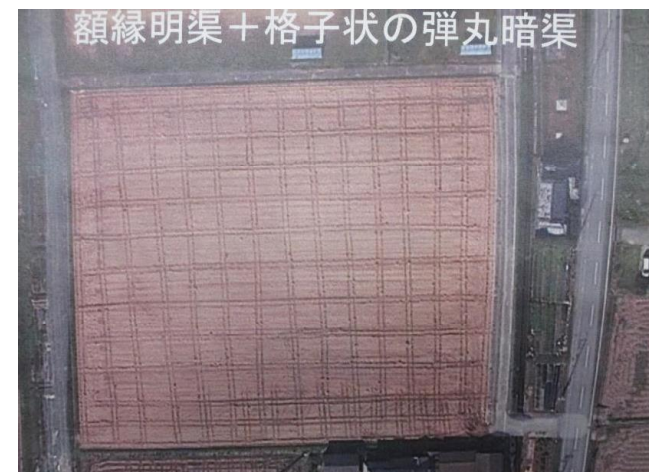
意見交換会

2023/08/07

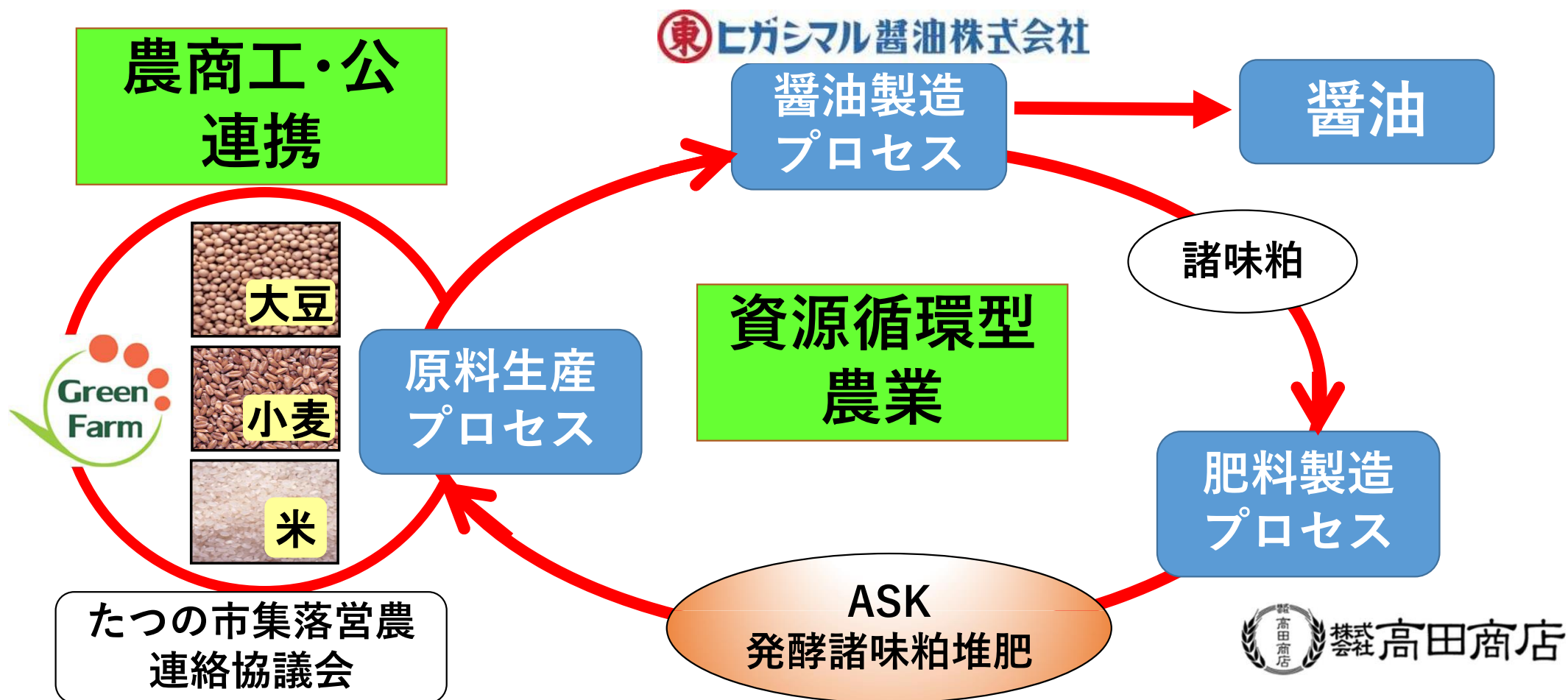
(株)グリーンファーム揖西 猪澤 敏一

取組の特徴

- JA兵庫西を介した地元実需者との契約栽培で、醸造用の高たんぱく小麦・大豆を生産し、徹底的な排水対策で**高レベルの排水性**を実現、高収量を確保、安定した経営を目指す。
- たつの市集落営農連絡協議会で、小麦・大豆の収量増のために**栽培技術の向上と普及**に取り組んでいる。
- **2年3作（米・麦・大豆）**ブロックローテーションで土地の有効利用を図る。
- 実需者が望む**新品種の実証栽培試験**に取り組んでいる。
- 醤油製造の副産物を発酵し、堆肥化（肥料登録）した「**ASK（発酵諸味粕堆肥）**」を利用して肥料コストの低減及び、資源循環型農業に取り組んでいる。



「農商工・公連携」と「資源循環型農業」による 醤油用高品質小麦・大豆の地産化



2年3作利用の様子

ブロックローテーション（小麦＆水稲）



今後の展開

- 水稻・大豆・小麦全般に**ASK**を波及させ、コスト低減・作業効率の向上により**高収益化**を目指すとともに、環境面に配慮した**SDG s**を通して持続可能な農業に取り組む。
- GF揖西の管理圃場の周辺集落の圃場も囲い込み大きい共同体にすることで、地域の担い手や**農地を守る**取り組みに貢献する。
- もっと大型の農機具が必要だけどうしょう

「発酵諸味粕堆肥」だけで米栽培

地元企業と連携した資源循環型農業の実現

～本当の持続可能性はここにある～



2

飢餓を
ゼロに



8

働きがいも
経済成長も



9

産業と技術革新の
基盤をつくろう



12

つくる責任
つかう責任



13

気候変動に
具体的な対策を



2023/02/01

ひょうご農林水産ビジョン 2030×SDGs推進プロジェクト

SDGsシンポジウム

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



(株)グリーンファーム揖西

猪澤 敏一

今年も、ASK(発酵諸味粕堆肥)だけで米栽培中



意見・要望 1

農業予算の拡充



- ・日本の食と農業に対する国家予算は適正といえるのか、食料安全保障は国家的戦略の位置付けとなる。世界の農業生産や食料供給事情などとともに、諸外国における食料安全保障政策の内容や予算措置について、検証部会ではどのように議論されているか？
- ・国内農産物の生産強化を図るため、国家予算全体の枠組みとして、生産コストや労力に見合った、公正で再生産可能な農業所得の補償が必要ではないか。

意見・要望 2 農村・集落環境を守るための施策



- ・後継者不足、高齢化による離脱で耕作放棄地等が増え続け、農村・集落環境は危機的状況である。他産業でも担い手不足は深刻であり、構造的な問題として議論していく必要があるのではないか。
- ・米や野菜も生産コストを価格転嫁できないなど、農業の現状は厳しいものがある。次世代の農業の担い手が育つ環境を作り、持続可能な農村・集落を守ることが我々の使命。持続可能な農村社会を構築するために、国家全体として議論を展開すべきではないか。
- ・農業の担い手とともに関係機関のマンパワー不足が深刻である。例えば、JAや公務員も農業従事者として認めることはできないか。

意見・要望 3 地域計画について



- ・話し合って解決しますか？
- ・大型農家や営農組合など、農地を守るための予算について、国民視点での合意形成を図り、国土を守るための集中した仕組みづくりを構築できないか。

※国民全員が農村（田舎）に目を向けなければ、農業が死んでしまう！